

富医ニュース

No.612 令和4年7月1日

一般社団法人 富田林医師会

会長 藤岡 洋

〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38

TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858

E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

令和4年 定例総会開催

田んぼの水張りも始まり、田植えトラクターとも出くわす事が多くなってきた去る5月30日(月)、令和4年定例総会が医師会大会議室にて開催されました。

新型コロナウイルスのため、令和2年、3年と書面開催となっており、3年ぶりの開催でありましたが、久しぶりのフェイス to フェイスの開催にちょっぴり日常を取り戻したような嬉しさを感じました。【会員数172名、出席者129名(うち委任状提出110名)】上野克己議員のもと、児寫晃副会長の司会にて開催(議事録署名人 仲谷宗裕先生、奥山佳史先生)され、最初に藤岡洋会長よりご挨拶があり、続いて今期にお亡くなりになられた、長嶺慎一先生、杉田勝洋先生、元会長である森口英世先生への黙祷が行われました。会長よりコロナワクチン接種事業におけるワーキンググループを中心とした会員への謝辞、オンライン診療の拡大、リフィル処方箋の導入、マイナンバー保険証などの開業医に対するしめつけ、日医における会長選挙、府医における今後の体制など現在の医師会情勢につきお話がありました。

引き続き沖貴士先生(おき泌尿器科クリニック)の新入会の自己紹介が行われた後、仲谷宗裕先生、馬場昌輝先生への会員20年表彰、坂口隆啓先生への役員10年表彰がなされました。

総会議事

「議案」

- I. 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画案承認の件
- II. 令和3年度医師会決算及び令和3年度訪問看護事業特別会計決算承認の件
- III. 令和4年度医師会予算案及び令和4年度訪問看護事業特別会計予算承認の件
- IV. 役員改選承認の件
- V. その他

以上賛成多数にて議案が議決されましたが、役員改選承認では会長より懐刀である、児寫晃副会長、赤松幹一郎副会長、前田重成副会長への期待をこめた紹介があり閉会となりました。

今後とも会員先生方の医師会活動へのご協力の程、何卒よろしくお願いたします。

調 整 日

7月分 8月8日(月)
PM3:00まで

8月分 9月8日(木)
PM3:00まで

7 月 の 予 定

- 4日(月)・会長・副会長会議
- 7日(木)・調整日
- 8日(金)・理事会(20:30~)
- 11日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会
- 14日(木)・学術講演会
(ハイブリッド)
- 21日(木)・病診連携会
【富田林病院 会議室】
- 22日(金)・広報調査委員会
- 26日(火)・感染症対策委員会
・広報調査委員会
(校正)



令和4年 6月定例理事会

日 時 令和4年6月11日(土)
18:00～

会長挨拶

報告事項

- 1) 千早赤阪村学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員→大澤先生
- 2) 令和4、5年度大阪府医師会医学会運営委員および生涯教育推進委員会委員
- 3) 大阪府医師会学校医部会委員
7/14→山本善先生
- 4) 大阪府医師会国民健康保険組合臨時組合会
→児嶋先生
- 5) 大阪府医師会労災部会委員
7/15→山本善先生
- 6) 令和4年度富田林市要保護児童対策地域協議会代表者会議 7/25→児嶋先生
- 7) 河南町地域福祉活動計画策定委員会委員
6/1より1年間→仲谷先生
- 8) 南河内南部広域小児急病診療実務者連絡会
7/7→藤岡雅先生・児嶋先生
- 9) 第322回大阪府医師会定例代議員会
→児嶋先生・赤松先生・仲谷先生
- 10) 令和4年度大阪府医師会産業医部会
7/20→児嶋先生
- 11) 医院診療科目標榜について

第4回 新型コロナワクチン集団接種 ご協力のお願い

夏野菜の収穫もポチポチと始まり、スイカ玉も日ごとに大きくなり、蒸し暑い季節となつてまいりました。

さて新型コロナワクチン4回目集団接種事業ですが、7月8日から4市町村各会場、並びに各巡回施設にて開始となります。(対象は60歳以上の住民と、18歳以上で基礎疾患があり接種の希望をする人です。富田林市:3万人弱 三町村:1万人弱)

現在感染者数は小康状態を保っておりますが、手洗い、マスク、検温等の感染防御対策下、街での人出も激増しており今後の動向も気になるところです。

罹患後症状の永続性もまだまだ不明な所が多く、4回目接種の必要性が叫ばれております。

皆様のご協力の程、何卒よろしくお願ひいたします。

富田林医師会学術講演会

日 時 令和4年7月14日(木) 14:00～15:00

会 場 医師会 大会議室
オンライン(Zoom)

座 長 くにさだ医院 國定 慶太 先生
「コロナ禍に打ち勝つプライマリー診療
～症状から見たCOPDの診断と治療～」

演 者 大阪公立大学大学院医学研究科
呼吸器内科学 准教授 金澤 博 先生

わが国の人口構造の高齢化から、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在患者数の増加は、容易に推測できます。しかしながら、プライマリー診療を担う先生方のCOPD診療に対する取り組み意欲は、依然として高まりを欠いています。COPDによる労作時息切れは、身体活動性の低下を通して、QOLの著しい低下を招くため、早期診断、及び適切な治療が強く望まれています。これまでプライマリーの先生方が、COPD診療に対して抱いていた課題は、第一に診察時間や検査機器の制約から肺機能検査の実施が困難であったこと、第二に喘息との鑑別や治療薬の選択に専門的な知識が要求されたこと、そして、第三に非専門医がCOPD診療に取り組むことで、主治医として患者さんにどのような利益をもたらすことができるのか、という三点に集約されると思います。そこで、今回の講演会では、これらの課題に対する明確な回答を実例を通してお示しすることで、先生方の日常診療レベルの向上のお役に立ちたいと考えています。

※本講演会は、大阪府医師会生涯教育研修システムを申請予定です。(CC46:咳・痰1.0単位)

※本講演会は、WEBツールを利用したオンライン形式で開催いたします。

※事前登録方法は、別紙をご確認ください。

第50回 富田林医師会病診連携会

日 時 令和4年7月21日(木) 14:10～15:10

会 場 済生会富田林病院 講堂

形 式 ハイブリッド開催[現地開催・Web配信
(Zoomウェビナー)同時開催]

※オンラインにて視聴の方は事前登録制です。

(別紙参照)

教育講演 14:10~14:40

座長 済生会富田林病院

外科副部長 吉川 浩之 先生

「腎機能障害を尿所見から読み解く

～ご紹介例から～」

演者 済生会富田林病院

腎臓内科部長 吉川 浩之 先生

ディスカッション 14:40~15:10

「高齢社会における腎代替療法」

パネリスト 済生会富田林病院

腎臓内科部長 米田 雅美 先生

外科副部長 吉川 浩之 先生

天城医院 天城 完二 先生

※日本医師会生涯教育講座 カリキュラムコード:[73 8・1]

専門医より一言



地方独立行政法人

りんくう総合医療センター

理事長 山下 静也 先生

日時 令和4年6月23日(木) 14:00~15:00

「高TG血症の病態と治療の最前線

～SPPARMaの概念と新たな臨床応用の可能性～」

各種のスタチンの投与によって、心血管イベント発症リスクを20%~30%程度抑制することが可能である。更には、急性冠症候群後の患者に小腸コレステロールトランスポーター阻害薬エゼチミブをスタチンに上乘せしたIMPROVE-IT試験や、我が国の後期高齢者を対象として食事療法単独と食事療法+エゼチミブを併用したEWTOPIA 75試験では、エゼチミブの投与により心血管イベント発症の有意な抑制が報告された。更に、LDL-Cを60%以上低下させるPCSK9阻害薬が登場したものの、心血管イベント発症は有意に減少したものの、その程度は15%程度であった。従って、動脈硬化が進行するとLDL-C低下療法だけでは十分とは言えず、一旦生じた動脈硬化巣を退縮させることは殆ど不可能で

ある。そこで、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドロームや、更には高TG血症や食後高脂血症などの脂質代謝異常の残余リスクに対する治療介入も必要となる。

近年、粥状動脈硬化を引き起こす要因の一つとして高TG血症が着目されている。カイロミクロンが増加するような高TG血症では必ずしも動脈硬化を惹起するとは言えないが、VLDLが増加するような高TG血症では動脈硬化が惹起される。また、高TG血症に加え、レムナントリポ蛋白やsmall dense LDLが増加した患者ではより動脈硬化が惹起されやすいと考えられている。特に、カイロミクロンレムナントやIDL(VLDLレムナント)などのレムナントリポ蛋白は粒子径が比較的小さく、コレステロール含量が多いため、血管内膜に侵入しやすく、マクロファージを泡沫化しやすいため、レムナントリポ蛋白は冠動脈疾患の発症リスクを高めることが報告されている。高TG血症治療薬にはフィブラート系薬、ニコチン酸誘導体、N-3系多価不飽和脂肪酸などがあり、特にフィブラート系薬はTG低下作用が強力なため、高TG血症の第一選択薬となっていた。フィブラート系薬はPPAR α を活性化することにより脂質異常症を改善させるが、フィブラート系薬のメタ解析では心血管イベントの抑制効果が報告されているものの、個別の大規模臨床試験では一次エンドポイントに有意な効果が認められなかった研究も多い。その理由として、フィブラート系薬の開発時には明らかでなかったPPAR α に対する選択性の問題に起因する副作用(腎機能・肝機能検査値の悪化、スタチンとの併用で横紋筋融解症の増加、動脈硬化惹起性のホモシステインの増加、PCSK9上昇など)がある。近年、選択的PPAR α モジュレーター(SPPARMa)としてペマフィブラートが開発され、我が国で世界に先駆けて承認された。ペマフィブラートのTG低下やHDL-C増加作用は強力であり、フェノフィブラートと比べてもより強力なTG低下・HDL-C増加作用が認められている。一方、従来のフィブラート系薬は肝機能検査値や腎機能検査値への影響が懸念されていたが、ペマフィブラートはそのPPAR α への選択性の高さが故に、腎機能や肝機能へ与える影響は少ないことが確認されており、有効性と安全性を兼ね備えた薬剤であり、高TG血症の病態と治療、特にSPPARMaに関する新たな知見を紹介致しました。

新 会 員 紹 介



おき泌尿器科クリニック

沖 貴士 先生

富田林市向陽台2丁目1-11

TEL:0721-40-0500

FAX:0721-40-0501

令和3年5月10日にエコー・ロゼの横に「おき泌尿器科クリニック」を開業させていただきました沖です。

平成19年に近畿大学医学部を卒業し、同附属病院で初期研修を行い、耳原総合病院、近畿大学医学部堺病院、NTT西日本大阪病院、また最後に耳原総合病院と多数の市中病院で勉強させていただきました。

この挨拶文は開業して1年で書いております。開業した時点で新型コロナウイルス感染症のこともあり、感染対策も加え毎日色々とありました。

開業前から、発熱患者の動線はどうするとか、換気をどうするといった話をずっとしていたと思います。開業してからは日々の外来に加えワクチンの集団接種業務にも誘ってもらい、ここで、医師会の先生とたくさん話す機会があり、また、在宅診療も始めているので、在宅診療チームの先生方にも色々と教えてもらえました。みなさんがとても優しく接してくださって、私自身は非常に周りの人に恵まれている人間と思っております。

今後も泌尿器科専門医として泌尿器診療を行うのと、地域医療として訪問診療も行っていく次第です。

開業での経営といった部分もまだまだわからず、施設認定一つもかなり苦戦しています。医師会の仕事などもまだまだ把握できておらず、ご迷惑をおかけすることも多いと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医師会理事就任挨拶

山本耳鼻咽喉科 山本 秀文 先生

この度、藤岡洋会長をはじめ医師会理事の皆様よりご推挙を頂きまして、2022年度より医師会理事を務めさせて頂くこととなりました。まだまだ未熟者でございますので、今後もお一層の御指導・御鞭撻を宜しくお願い致します。

6 月 行 事 ・ 会 合

8日(水)・調整日

11日(土)・理事会

20日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

23日(木)・学術講演会(ハイブリッド形式

ZOOM・医師会研修室)

・第322回 府医定例代議員会

24日(金)・広報調査委員会

27日(月)・広報調査委員会(校正)

28日(火) 休日診療委員会

ここ数年のコロナ禍において、耳鼻咽喉科は最も影響を受けた診療科の一つです。従来からの変化を強いられることも多くありました。その状況においても医師会の使命である、地域医療を通じて地域住民の健康を保持増進すること・学校保健への取り組みなどに対して、耳鼻咽喉科医会として最善の形を模索していかなくてはなりません。富田林医師会と耳鼻咽喉科医会との双方向性の橋渡し役として、微力ながら尽くしていく所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

○会員数(7月1日現在) 172名

A会員 94名 B会員 77名 C会員 1名

○入会 なし

○退会 なし

○異動 なし

広 報 調 査 委 員 会

委員長	齊 藤 謙 介	副委員長	森 井 秀 樹
委員	青 山 賢 治	天 城 完 二	今 城 幸 裕
	植 村 匡 志	江 村 俊 也	奥 野 敦 史
	尾多賀 雅 哉	遠 山 佳 樹	中 村 元
	藤 岡 洋	山 本 善 哉	山 本 秀 文